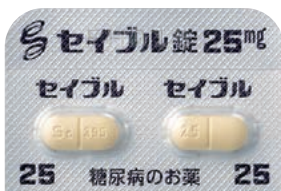


**セイブル<sup>®</sup>錠・OD錠を服用される方へ**

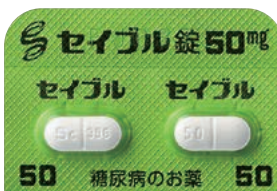
**株式会社 三和化学研究所**

# セイブル錠・OD錠を服用される方へ

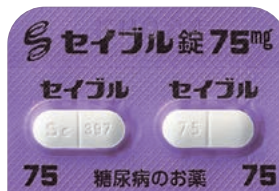
※写真は実物大です



セイブル錠25mg



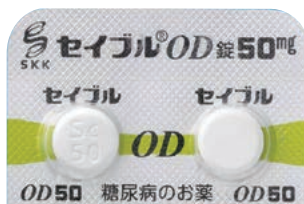
セイブル錠50mg



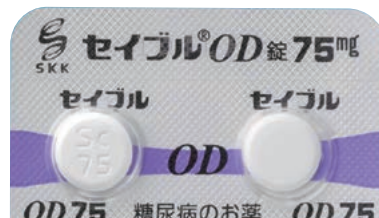
セイブル錠75mg



セイブルOD錠25mg



セイブルOD錠50mg



セイブルOD錠75mg

服用される前に、以下の注意をよくお読みください

- ◆この薬は食後の血糖上昇を緩やかにして食後の高血糖を改善する糖尿病のお薬です。
- ◆必ず食事を始める時にお飲みください。
- ◆他の糖尿病の薬(血糖を下げる薬)を併用した場合、あるいは場合によっては、併用しなくても**低血糖**を起こすことがあります。
- ◆おなかが張る、おならの回数がふえる、おなかが緩くなるなどの**消化器症状**がみられることがあります。

## 1 セイブル錠・OD錠の飲み方と保管について

- おなかの中でごはんやパンなどの食物と混ざり合っただけの効果を発揮するお薬ですので、必ず**食事を始める時にお飲みください**。(食事中、特に食後では血糖を下げる効果が弱くなります。)
- もし、食事を始める時に飲み忘れ、食事中または食直後に気付いたときは、すぐにお飲みください。
- 乳幼児・小児の手の届かないところで、光や湿気を避けて保管してください。  
(セイブル錠は、シートに入っている場合でも光と湿気によりわずかに着色することがあります。)

### セイブルOD錠の場合

- セイブルOD錠は、舌の上でだ液を含ませ、舌で軽くつぶし、だ液のみで飲むことができます。普通の薬と同じように水で飲むこともできます。
- セイブルOD錠は、湿気が多いところに放置した場合、やわらかくなる場合があります。

## 2 消化器症状について

この薬を飲むと、おなかが張る、おならの回数がふえる、おなかが緩くなるなどの消化器症状が起こることがあります。特に飲み始めの頃に多くみられるのですが、**症状が気になる場合は主治医や薬剤師にご相談ください**。  
(裏面もお読みください)

### 3 低血糖について

#### (1)低血糖とは

- **血液中の糖分が少なくなりすぎた危険な状態です。**空腹の時、運動中や運動後、就寝前などに起こりやすく、**主に以下のような症状が現れます。**



その他の症状として、呼吸がはやくなる、眠気、あくび、顔面蒼白、いつもと人柄が違ったような行動をとるなどがあります。重篤な場合けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。

#### (2)低血糖を予防するためには

- **薬の量や飲み方**：主治医の指導を正しく守ってください。勝手に量や飲み方を変えるような自己流のやり方はしないでください。
- **食事・運動など**：みだりに減らしたり、抜いたりしないよう食事療法はきちんと守ることが大切です。お酒の飲みすぎ、激しい運動、下痢などは低血糖を起こしやすいので注意してください。食事がとれない場合は、主治医に連絡してその指示をうけてください。
- **他の薬を飲むとき**：ほかの糖尿病の薬（血糖を下げる薬）など、薬の中には、併用すると低血糖を起こすものがあります。何か別の薬を飲む時には、主治医や薬剤師に相談してください。他の医師に何か薬を処方してもらう時には、すでにセイブル錠・OD錠を飲んでいることを申し出てください。

#### (3)セイブル錠・OD錠を服用していて低血糖が起こったら

**低血糖は危険な状態ですから、起こらないように注意し、もし起こったら軽いうちに治してしまわなければなりません。**

- **軽い低血糖はブドウ糖をとると治る**：症状が軽い場合はブドウ糖をとると治ります。普段からブドウ糖を持ち歩き、**低血糖の症状が起こったら、10gのブドウ糖をその場ですぐにとってください。**この薬は砂糖(ショ糖)などのブドウ糖以外の糖分の消化・吸収を遅らせますので、砂糖やあめ菓子など**ブドウ糖が含まれていないものでは効果が不十分です。**
- **携帯用のブドウ糖について**：携帯用のブドウ糖を入手できますので、希望される場合は入手方法について主治医や薬局におたずねください。
- **早目に主治医に知らせる**：低血糖を起こした場合は、必ず早目に主治医に知らせその指導に従ってください。

#### (4)高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事しているときに低血糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。

#### (5)この注意は、必ず家族や周囲の方にも知らせておいてください。また、自分が現在糖尿病で薬を飲んでいることを書いたカードを身につけておくなど、いつでもどこでもすぐに低血糖を治療してもらえるようにしておくことが安全です。

製 造 販 売 元  
株式会社 三和化学研究所

2016年6月改訂

SBL-08 83880 WK0616